

大学間連携共同教育推進事業  
平成 24 年度採択

海事分野における  
高専・産業界連携による  
人材育成システムの開発  
グローバル教育拠点の活用  
中間報告

富山高等専門学校

鳥羽商船高等専門学校

広島商船高等専門学校

大島商船高等専門学校

弓削商船高等専門学校

日本船主協会

全日本船舶職員協会

全日本海員組合

国際船員労務協会

大学間連携共同教育推進事業  
平成 24 年度採択

海事分野における  
高専・産業界連携による  
人材育成システムの開発  
グローバル教育拠点の活用  
中間報告

富山高等専門学校  
鳥羽商船高等専門学校  
広島商船高等専門学校  
大島商船高等専門学校  
弓削商船高等専門学校

日本船主協会  
全日本船舶職員協会  
全日本海員組合  
国際船員労務協会

## 目次

概要	1
◆グローバル教育拠点を利用した教育補助教員による英語教育	1
●平成 24 年度報告	2
・英語教育補助教員の配置	2
・グローバル拠点の整備	4
●平成 25 年度報告	5
・各校のグローバル教育拠点利用状況	5
■富山高専	5
■広島商船高専	9
■弓削商船高専	11
■大島商船高専	11
■鳥羽商船高専	13
●平成 26 年度報告	16
・各校のグローバル教育拠点利用状況	16
■富山高専	16
■広島商船高専	22
■弓削商船高専	24
■大島商船高専	25
■鳥羽商船高専	27
●平成 27 年度報告	29
・TOEIC スコアの変位	29
・グローバル拠点利用率向上の検討	31
●プロジェクト最終年度に向けて	44

## ◆概要

平成 24 年度に、文部科学省の大学間連携共同教育推進事業として採択された、「海事分野における高専・産業界連携による人材育成システムの開発(通称：海事人材育成プロジェクト)」は、3 種のプロジェクトから構成されている。グローバル化に対応した”1. 新たな海事技術者に必要な資質の涵養”と、技術革新に対応すべく”2. 新たな海事技術者に不可欠な知識・技術の育成”、更に海事教育機関である高専・商船学科として海運業が求める事態に対応できる「柔軟で高度な海事技術者」の継続的かつ確実な育成を目指す”3. 新たな海事技術者を確実に継続的に育成し得る質の高い海事教育システム”である。

また、プロジェクトの 1 つである”1. 新たな海事技術者に必要な資質の涵養”は、新たな海事技術者に必要な資質として求められる「基本的なコミュニケーション能力」、「基礎的な英語力」、「外地駐在への意欲」について、その資質を身に付け、更にグローバルな活躍が期待される英語のできる高専・商船学科生の育成法の確立を目的としたもので、次のサブ・プロジェクトより構成されている。

1. 1. 英語力向上プログラムの開発 (担当：鳥羽)
1. 2. 国際インターンシップの展開 (担当：広島)

上記プログラムは、鳥羽商船高専と広島商船高専が担当校として、5 高専・商船学科が船主協会、全船協、全日海、国船協と協議し、展開されている。中でも 1. 1. 英語力向上プログラムの開発は、新たな海事技術者の資質として求められる基本的なコミュニケーション能力、基礎的な英語力の育成を試みるものである。15 才から 20 才の高専・商船学科生に対して、TOEIC スコア：500 程度をゴールとする英語教育プログラムの構築を目指すもので、以下の 3 つを柱に英語力の育成が実施されている。

- ① グローバル教育拠点を利用した教育補助教員による英語教育
- ② 英語表記教材・教科書の開発
- ③ 教員の英語外地研修

本報告書は、”1. 新たな海事技術者に必要な資質の涵養”の 1. 1. 英語力向上プログラムの開発の内、①グローバル教育拠点を利用した教育補助教員による英語教育について報告するものである。

## ◆グローバル教育拠点を利用した教育補助教員による英語教育

本サブ・プロジェクトは、商船学科・教育補助教員（特命助教等）による英語教員を各校に配置し、英語教育を含むグローバル教育を積極的に進めるものである。また、商船学科に英語教育プログラムを展開するための拠点教室を整備する。

教育補助教員は英語教員と連携して、多読・多聴教材の整備や課外英語講座等を開設する等、新たな英語教育プログラムを検討、開発する。

## ●平成 24 年度報告

初年度は、プログラム開始後各校にて事業実施を進めるべくプログラムについて展開の検討を行った。12月中旬には第1回「英語力育成サブ・プロジェクト」企画会議を開催し、本プロジェクトの遂行に向けた趣旨の再確認及び、平成24年度における各校の現状・実施概要の確認を行った。これより英語教育補助教員とグローバル拠点の整備状況、教科書の整備・計画・選定状況等について情報の共有化を図り、英語教育補助教員の配置、グローバル拠点の整備を進めた。結果、次年度から本格的なプログラム展開ができる体制がほぼ整った。

## ・英語教育補助教員の配置

各校で英語教育補助教員の配置を行った。英語補助教員の採用にあたっては地理的問題等があり採用者はネイティブ、日本人等さまざまであった。初年度の配置状況を表1に示す。各校とも1名以上の配置がなされ、多いところでは4名の補助教員が確保された。

表 英語教育補助教員の配置状況

	特命教授	特命助教	特任助教
富山	1名	1名	
広島			4名
弓削		1名	
大島			1名
鳥羽		1名	

英語教育補助教員の主な職務内容は、①課外講義等の対応と②学生の質問や相談の対応があり、大きく2つに分けることができる。学校によりいずれか一方もしくは両方の対応を行い、英語力向上を目指した様々な取り組みについて検討が行われた。

富山では、低学年から教科書「Surfing English」を使った授業や、専門英語の支援を検討した。時間割に週50分の授業を設定し、教材の選択も行った。広島では週2、3時間程度、希望者を対象に授業を行い、専門英語を教えることで英語力育成を図った。弓削では集中講義に加え、対応内容を依頼し、その実施を週10時間の中で行うこととした。一方、大島ではESSの延長としてプレゼンテーションの作成を課題とする対応を検討した。鳥羽では学生の英語能力の実態把握により教材選定を行い、訪ねてくる学生の質問や相談の対応を始めた。

	拠点教室	教材
富山		
広島		
弓削		
大島		
鳥羽		

図 グローバル拠点の整備状況

### ・グローバル拠点の整備

初年度の整備は、年度後半からの実施となり、従来使用していた部屋の検討等、調整が必要となった。しかし、各校現状に即した確保がなされ、平成 25 年度からは部屋の利用開始ができる準備が整った。

富山では、旧操船シミュレータ室を使用する予定とし、パソコンや図書の配置の検討をした。

大島では、コンピュータ部の部屋にある商船学科のパソコンの共用化を検討した。

広島は、商船学科のフロアにある部屋の確保ができた。確保された部屋にはパソコンも 12～13 台あり TV 会議もできる。

弓削では、出来た空き部屋を利用し、拠点としての使用が始まった。

鳥羽では、会議室として使用していた部屋を利用することで、学生が集まれる環境を整えた。電話、パソコン、本棚等を配置した。

具体的な運営内容は、5 高専で差異が大きくないことが確認された。

## ●平成 25 年度報告

平成 24 年の準備期間を経て、平成 25 年度から英語教育のための部屋(グローバル教育拠点)を確保できた。拠点の有効活用及びプログラムの展開に必要な教材の整備に向けて準備を進め、各校独自のプログラム展開が見られた。

7 月には第 2 回企画会議を開催し、グローバル教育拠点の利用状況を確認した。また英語力向上の確認指標の 1 つとして TOEIC 受験学生のスコアの検討を行うべく、受験状況や受験対策、スコアについて情報交換を行った。

TOEIC の受験状況は、各校とも学生は任意で受けており、学校ごとの受験者数にばらつきがあることが確認された。早い学年から TOEIC 対策に取り組んでいけば、スコアアップが期待されていることも話題にあがった。これよりグローバル拠点の効果検証としても、各学年における TOEIC スコアの状況を見る必要性が示唆された。全体的な平均スコアが 300 であると考え、プロジェクト最終年度における目標スコア 500 を達成させるためには、各年の上昇スコアが 50 となる。英語科教員との連携は必須となることや、学生本人が英語の実力を認識し、社会に出るまでにすべきことを自覚して、拠点利用の有用性を認識できるプログラム展開が必要になることが提案された。

## ・各校のグローバル教育拠点利用状況

### ■富山高専

#### 1. グローバル拠点概要

4 月より、特別教育活動の時間を使い、グローバル教育拠点教室を利用した活動を実施してきた。教室環境は現在整備されており、商船学科 2 年生～商船学科 5 年生（前期のみ）週 1 回（45 分）学年・コース別で主に「特別教育活動」の時間に利用している（時間割に「特別教育活動」を組み入れ、英語授業を実施）。また、商船学科 5 年生の機関英語、航海英語の授業（前期のみ）でも利用した。

年度	平成 25 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用 人数	542	724	503	481	0	131	450	364	224	356	0	0
累計 人数	542	1266	1769	2250	2250	2381	2831	3195	3419	3775	3775	3775

#### 2. TOEIC

商船学科 4 年生は、3 年生の後期（2013 年 2 月）に学校で全員 TOEIC を受験した。その後は希望者のみの受験としたが、カレッジ TOEIC を学校で受験している。必要に応じて公開オフィシャル TOEIC テストも受験している。

また、一般科目の技能審査単位として単位認定がされている。

TOEIC・TOEICIP	400～499点	一般科目1単位
	500～599点	一般科目2単位
	600点以上	一般科目3単位

現在の商船学科4年生のスコア実績

スコア	2013年2月	2013年7月	2013年10月
600点以上			
550点～599点			
500点～549点	1		
450点～499点			3名
400点～449点	3	2名	3名
	37名受験	18名受験	18名受験

2013年10月4年生18人受験、最高点470点、最低点245点、平均点365点  
2014年1月には商船学科4年生全員がカレッジTOEICを受験する予定である。

### 3. 展開プログラム

#### (1) 商船学科4年生希望者対象のTOEIC対策講座

##### ①TOEIC集中講座実施

(ア) 3日間 (8名が3日間出席)

(イ) 3日間 (5名が3日間出席)

##### ②TOEIC対策講座実施

9月30日より、週4回、放課後(16時10分～17時20分)に、商船学科4年生の希望者を対象としたTOEIC対策講座を実施した。これまで23回実施し、延べ参加人数は、87名である(平均参加者3.8人)。12月以降も継続実施する。

#### (2) 留学生との交流学习(後期実施)

##### ①ねらい

・学生が英語を使わざるを得ない場面を設定し、英語学習の必要性を経験させる。これにより英語学習に対するモチベーションを高める。

・外国に関する情報を得て、将来的なビジョンを持たせ、学生のキャリア選択に役立たせる。

##### ②内容

・特別教育活動の時間を利用して、本校で3か月の短期留学をしている留学生らとの交流学习を実施する。

対象学年	3年生	2年生	1年生
参加人数	42名	37名	37名
後期における交流活動の回数	2回 (前期は1回実施)	1回 (前期は1回実施)	1回 (前期は実施なし)
交流活動の内容	シンガポールから3か月間研修にきている留学生4名に授業へ参加してもらい、学生による質疑応答を通して、シンガポールに関する関心を学生に持たせる。学生各自は、事前に教員から与えられた質問文、あるいは自分が聞いてみたい質問を留学生にする。留学生との交流活動では、1人1人の学生が留学生に英語で質問し、参加学生は、その答えを簡単な英語で書きとる活動をする。		
交流活動の形態	航海・機関のコース別に分かれる。3年生は要望が強かったため、交流活動を2回実施する。航海と機関では、特別教育活動の実施曜日が異なっている。各コースともに4つの小グループを作り、留学生が加わる。後期第1回目の交流活動では、学生らは、教員から与えられた質問を留学生にして、回答を用紙に記入した。10分ごとに、留学生らが交替する。学生らは同じ質問を4回することになる。第1回交流活動終了後、学生にアンケートを取り自分が聞いてみたい質問を英語と日本語で書かせ、	航海・機関のコース別に2クラスに分かれる。学生はコース別に分かれた後、さらに航海コースは9名のグループと8名のグループに分かれる。機関コースは10名ずつのグループに分かれる。留学生はグループ毎に、1名ずつ加わる。学生がより身近に自主的に留学生と交流できるように学生が進行を行う。学生の要望があれば、教員が助言する。質問する内容は事前に学生に開示されている。自分がしてみたい質問があれば、日本語、英語併記で記入し、教員の添削を受けることができる。交流活動では、15分ごとに、留学生がグループを替わり、学	航海・機関のコース別に分かれる。レクチャースタイルで学生は着席する。留学生2名は、着席している19名あるいは18名の前に立ち、学生の質問に答える。日本人学生は、質問する前に”Hello. Nice to meet you. Where did you visit in Japan?”等と質問し、答えてもらったら、”Thank you.”と挨拶するよう、事前指導しておく。進行は教員により管理される。学生には事前に質問する内容が開示されている。自分がしてみたい質問があれば、日本語、英語併記で記入し、教員の添削を受けることができる。

	<p>添削した。</p> <p>後期第 2 回目の交流活動では、学生らが聞いてみたい質問（航海コース・機関コースともに 11 個）を一覧表にし、事前に質問内容を開示する。質問する時には、自分の紹介をしてから質問するように事前指導する。</p> <p>例えば、”I like math at school. What subject do you like?”</p> <p>自らの紹介をし、相手の情報を得るといふ活動を行う。発話時間が増える工夫をする。</p>	<p>生らが再び同じ質問を順番にする。学生らは 45 分の活動の間に同じ質問を 2 回することになる。</p>	
--	--	---	--

### (3) 音読指導（後期実施）

商船学科の学生の英語学習に対するモチベーションを維持させ、声に出して英語を読む力を付けることを目標とする。昼食時間帯の 15 分間を利用し学生 2 名ずつを呼び出し、個人指導をしている。前期は、商船学科 1 年 37 名、商船学科 2 年 37 名、商船学科 3 年 42 名を 1 回ずつ、指導した。後期も引き続き実施している。商船学科 1 年は 37 名の音読指導を終了し、商船学科 3 年生 42 名の音読指導も実施している。音読する英文は、その時期に学んでいる「Surfing English」の中の教材の一節とした。学生は 1 回声に出して読み、単語の意味の確認や発音できない単語の確認をする。

### (4) 教員向け英語講座

富山高専教員を対象に、毎週 月、火、金曜日に【ヤングクラス】【シニアクラス】に分けて、教員向け英語力向上講座を実施している。主な内容は

- ・スピーチ（当番制）
- ・視聴覚教材を用いたスピーチ・プレゼン講座

・図書教材を用いた英語講座  
である。

実施内容や、講師の所見について、「英語力向上プログラム 研修通信」にまとめられている。(毎回 富山高専 海事人材育成プロジェクト実行委員に配布している)

表 1 教員向け英語力向上講座のまとめ

	実施時間	実施内容	実施場所
月曜日	11:00～12:00	【ヤングクラス】 毎回 1名～6名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室
火曜日	12:00～13:00	【シニアクラス】 毎回 1名～3名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室
金曜日	11:00～12:00	【ヤングクラス】 毎回 1名～6名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室 (地域人材開発本部室)
	12:00～13:00	【シニアクラス】 毎回 1名～3名程度参加 上述した内容を実施	

#### 4. 教材

海事人材育成プロジェクトにより購入した教材はグローバル教育拠点教室に保管し、貸し出しを行っている、貸し出し対象は教職員、学生であり利用状況を下に示す。貸出期間は特に定めていない。貸出簿に記入して自由に借りることができる。

2013年4月～2013年11月 貸出延べ人数

貸出延べ人数	TOEIC 教材	英会話教材	電子辞書
教職員	0人	9人	
学生	46人	22人	2人
貸出延べ人数	46人	31人	2人

#### ■広島商船高専

##### 1. グローバル拠点概要

英語担当教員として特任助教を4名配置した。それぞれの勤務体制は次のとおりである。各課外授業において適時学生の使用がなされているが、自習時間での使用もある。

特任助教（上級航海英語）

6時間/週 25年度：240時間

特任助教（上級航海英語）

6時間/週 25年度：240時間

特任助教（機関英語、上級航海英語）

6時間/週 25年度：240時間

特任助教（機関英語、上級航海英語）

6時間/週 25年度：240時間

年度	平成 25 年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用 人数	195	136	118	65	6	1	46	58	24	31	26	0
累計 人数	195	331	449	514	520	521	567	625	649	680	706	706

## 2. TOEIC

平成 26 年 1 月 14 日に本科 4 年生を対象とした IP テストを予定している。

参考：平成 24 年度商船学科 TOEIC 受験者数 35 人 TOEIC スコアの平均 258.4 点

表 TOEIC スコア分布

スコア範囲	人数
600<=	0
500<= <600	0
450<= <500	0
400<= <450	0
350<= <400	3
300<= <350	7
250<= <300	6
<250	19

## 3. 展開プログラム

英語教材は、効果を顕著にとらえる目的で、英語漬けシリーズ 1 本に特化した。1 年生から 4 年生まですべての商船学科で英語教育の充実ができた。

## 4. 教材

プラト株式会社 英語漬けシリーズ

中島真勝利著 英語リピートプリント中 1～中 3

国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC テスト公式問題集 Vol.2、Vol.3

Surfing English

## ■弓削商船高専

### 1. グローバル拠点概要

英語担当教員として特命助教を配置した。それぞれの勤務体制は次のとおりである。主に、放課後の英会話教室、英会話や TOEIC の集中セミナーを行っている。学生の利用状況は 1 日平均 4.2 人であり、別に設けた集中セミナーへの参加も見られる。教材の貸し出しも行っており利用者は 40 名程度であった。

特命助教（職歴：約 11 年、弓削商船で 2 年間非常勤の経験あり）

週 6 時間 年間 200 時間

特命助教（職歴：約 27 年、弓削商船で 4 年間非常勤の経験あり）

週 2～3 時間 年間 80 時間

年度	平成 25 年度											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用 人数	36	49	41	21	0	0	26	44	33	42	22	0
累計 人数	36	85	126	147	147	147	173	217	250	292	314	314

### 2. TOEIC

TOEIC 対策として集中セミナーを行った。適宜参加学生がみられた。

### 3. 展開プログラム

TOEIC スコア向上をめざし、長期休暇中に TOEIC 集中セミナーを行った。また、MAAP 英語教員による海事英語セミナーを合わせて開催し、約 2 週間にわたり、教員及び学生に Maritime English を教授した。

### 4. 教材

本校英語担当教員と協力して、英語教材をそろえた。

学生からの要望をもとに、ほしい教材（人気の教材）をそろえた。

貸出しの規則を作り、貸出し簿もつけている。

## ■大島商船高専

### 1. グローバル拠点概要

本年度より本プロジェクトで採用された特命助教 1 名が、平日（学生が登校する毎日）の 15:00～18:00 の 3 時間、教員室に常駐している。英語の長文読解や英語書籍の貸し出

し等、学生の対応を行っている。

現在、利用している学生は、専攻科生及び本科・商船学科の4年・5年（5年は秋学期より乗船実習中のため春学期まで）がほとんどであるが、英語書籍を借りる目的で訪れる学生は低学年から最高学年と幅広くみられる。

年度	平成 25 年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数										10	10	8
累計人数	※上記は延べ人数 ※授業による利用者数（毎月約 45 名）											

## 2. TOEIC

個人での受験・IP 受験を問わず、学生からの要望や個人能力に応じて講座を開講した。TOEIC IP テストにおいてスコア 400 点以上を取ることを目標としている。

受験者：2名（11月（5月）、12月）

スコア：510点 11月（390点 5月）、未通知 12月

受験日	受験者数	スコア			備考
		平均	最高	最低	
11、5、12月	2名	450	510	390	1名未通知
1月12日	6名	297.5	355	220	本科3名、専攻科3名

## 3. 展開プログラム

現在、実施している時間割を以下の図に示す。

時間割

	月	火	水	木	金
16:00～18:00	英文法	長文読解	長文読解	TOEIC 対策	英語耳 (ヒアリング)
参加学生	海事系専攻科 3名	海事系専攻科 3名		商船学科 4名	

その他、海技試験対策等、学生の要望によって実施している。

海技試験対策では二級海技士（航海）及び一級海技士（航海）における英語科目対策、その他海事英語関係の対応を行った。

学生の要望には、第三級海上無線通信士における英語の科目対策や、英訳、英語メール

の添削等がある。

#### 4. 教材

テキスト教材（約 100 冊）と電子辞書教材（約 30 点）を取り揃え、講義時に活用している。テキスト教材については学生への貸し出しも行い貸出率は約 20%であった。

### ■鳥羽商船高専

#### 1. グローバル拠点概要

特命助教を平日の 6 時間、配置しており、学生対応、教材検討等を行っている。主に、TOEIC 対策、英会話を中心に自学自習もできるように、時間割を決め、希望時間にきた学生の対応を行った。時間割以外の内容も随時対応した。学生利用は、1 日平均 2 人弱であるが、グループで利用することもあり、5~6 人となることもある。毎日通う学生は少数である。

年度	平成 25 年度											
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用人数	9	39	15	16	8	2	20	23	30	25	7	2
累計人数	9	48	63	79	87	89	109	132	162	187	194	196

#### 2. TOEIC

TOEIC 対策として、次のプログラムを実施した。

##### ・リーディング

教科書を使い、文法と読み、CD を聴き発音を行う。

##### ・Scanning

150words×5 つの文章を 5 分程度、100words の短文を 1 分程度で読み、その中から該当箇所を見つけ出す練習を行う。たとえば、番組表から提示ジャンルが放送される局と時間を見つける。

##### ・GIST

短文をゆっくり読んで、要約をさせる。

##### ・リスニング

TOEIC 用の教材を使い CD を聴かせ、問題を解かせる。

##### ・ボキャブラリ

例文が併記されている単語帳を使い、30words/1 日×週 3 回繰り返し覚える。

字が大きく、写真や例題がある単語帳を使い、単語を発音し、例文を読み、意味を確認した後、CD を聴き実際に発音してみる。

・ウォーミングアップテスト

リスニング 2 ページ、リーディング 2 ページ程度のテストを 25 分行う。

TOEIC のスコアは、グローバル拠点の利用者が非利用者より高く、特に Listening のスコアが高い傾向が見られた。

		Listening	Reading	Total
全体	平均	178.9091	113.0909	292
	最高	360	185	545
	最低	85	65	170
利用者	平均	208.9286	132.8571	341.7857
	最高	360	185	545
	最低	115	75	205
利用者以外	平均	168.6585	106.3415	275
	最高	270	160	420
	最低	85	65	170

### 3. 展開プログラム

これまでの利用実態を調査し、利用学生の状況等を整理した。また英語に違和感や苦手意識を持つ学生を対象にした、初歩的会話を中心とする英会話導入時間を設定し、教材の選定やボキャブラリ用の教材を準備し始めた。例えば、曜日毎に、テスト、単語、聞取り、読み取りを教える時間を設けて、参加に当たり、目標を立てやすくした。リスニング練習はレベルに合わせて速度を変え、目標スコアごとの教材を用意することで、ネイティブの先生に質問しながら自習できる環境を作った。また英語表記の教材を使い、少人数授業形態で教えることができるようにした。教材選定は、本校専門科目の教員と英語科教員に加え、大学、英会話教室の先生からも情報をいただき、有用性が高いと考えられるものをそろえた。更に紹介用のポスター作成し、利用率向上に努めた。

#### ① カンパセーション

英語に慣れ親しむことを目的とし、放課後や休み時間に、日本語も交えながら英語で会話を行う。複数の表現方法を学ぶ等、状況に合わせて親しみやすい雰囲気の中で英会話を行った。

#### ② 授業の質問

専門科目の英語や工具等の名称や説明の仕方について質疑形式で対応した。

③ 英語の授業参加

教室で英単語の発音練習等を行った。

④ 教員対応

英語で書く論文や申請書について対応した。

4. 教材

- ・前年度の整備により、利用率の高い教材の補充をした。
- ・DVD・CD等ソフトの見直し、導入をした。
- ・Scanning用教材をそろえた。
- ・カードや絵本といった副教材を検討した。
- ・単語暗記用フラッシュ表示プログラムを導入した。

## ●平成 26 年度報告

本年度は、これまで配置した英語教育補助教員と英語教員が連携し、新たな英語教育プログラムの検討を行った。各校において英語教育補助教員の配置に応じたプログラムを作成し、初心者（中学校入門）から上級者（TOEIC 対策）まで、各種プログラムを設定した。更に学生ができるだけ補助教員を活用できる仕組みを模索した。あわせて拠点教室の整備を継続し、英語教育を含むグローバル教育を積極的に進めた。これより、個々の学生にあった指導を補助教員から受けることができる仕組みを作るとともに、補助教員が不在時でも自学自習できる英語学習環境を整えた。

特に各校とも TOEIC 対策として、継続的な講座や短期集中講座等を実施し、受験のフォローアップ体制を整えた。TOEIC スコアの推移については、順調に向上した学校もあれば停滞している学校もある。本年度は大型練習船の実習時期変更の移行期のため、鳥羽は 4 年生の前期に、富山・広島は 4 年生の後期に 6 ケ月の実習が生まれ、利用率の増減も見られた。

### ・各校のグローバル教育拠点利用状況

#### ■富山高専

##### 1. グローバル拠点概要

平成 26 年度前期は、商船学科 1 年生を対象に金曜日の 7、8 限に「Surfing English」を用いた英語授業を行い、後半は音読指導を行った。商船学科 2 年生には、木曜日の 7、8 限前半に「Surfing English」を用いた英語授業、後半には音読指導を行った。更に商船学科 3 年生には、火曜日の 7 限に「Surfing English」を用いた英語授業を行った。また、商船学科 4、5 年生にはそれぞれ、金曜日 5 限、月曜日 7 限に TOEIC 対策講座を行うと共に、特に商船学科 5 年生については補助教員による「機関英語」「航海英語」の授業支援を実施した。

平成 26 年度後期には、商船学科 1 年生を対象に金曜日の 7、8 限前半に「Surfing English」を用いた英語授業、後半には英検指導・個別指導を行った。更に木曜日 8 限には英検指導・個別指導を行った。商船学科 2 年生には木曜日 7 限に Bridge TOEIC 教材を用いた英語授業、木曜日 8 限に航海コース資格試験指導、水曜日 8 限に機関コース資格試験指導を行った。商船学科 3 年生には月曜日 5 限に TOEIC 教材を用いた英語授業、火曜日は 7 限に機関コース資格試験指導、8 限に航海コース資格試験指導を行った。資格試験指導・TOEIC 指導希望者には、火曜日 9 限に対応を行った。なお、後期は商船学科 4、5 年生共に、大型練習船実習のためプログラムに参加できなかった。

また、上記、特別授業とは別に

・放課後の TOEIC 指導（希望者対象、毎日 1～5 名程度参加）

・留学生との交流学習（次ページ）

を実施した。

年度	平成 26 年度											
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用 人数	239	284	262	261	0	67	357	186	175	314	0	0
累計 人数	4014	4298	4560	4821	4821	4888	5245	5431	5606	5920	5920	5920

## 2. TOEIC

平成 26 年度 3 月・10 月における商船学科 3 年生、4 年生の TOEIC スコアを以下に示す。

	平成26年度6月結果		平成26年度10月結果
	3年生	4年生	4年生
600点以上			
550点～599点			
500点～549点		1	1
450点～499点	1	1	1
400点～449点	0	0	2
350点～400点	2	3	5
300点～349点	5	4	6
299点以下	28	32	11
最高点	495	525	545
平均	271	257	320
受験学生数	36人	41人	26人

## 3. 展開プログラム

特別教育活動における留学生と商船学科学生との交流学习として、複数プログラムを実施すると共に、教員向け英語講座を行った。

①特別教育活動における留学生と商船学科学生との交流学習

**Exchange activities with students in the Department of Navigation & Engineering**

シンガポール学生とタイ学生と商船学科学生との交流学習（※6月企画会議にて報告済み）

Grade & Class	Date for exchange activities 交流学習実施日	活動準備のための授業
<b>5<sup>th</sup> year</b> 4 <sup>th</sup> floor of the main building Global room <b>5<sup>th</sup> year</b> 4 <sup>th</sup> floor of the main building Big room	<b>May 7<sup>th</sup> (Wed.) Engineering course</b> ・ 3 <sup>rd</sup> period 10 : 40～11 : 25 Yamamoto sensei and Nagayama <b>Shingapore students</b> <b>May 7<sup>th</sup> (Wed.) Navigation course</b> ・ 4 <sup>th</sup> period 11 : 25～12 : 10 Nagayama <b>Shingapore students</b>	4月28日（月）7限 14 : 35～15 : 25  4月28日（月）7限 14 : 35～15 : 25
<b>2<sup>th</sup> year</b> 4 <sup>th</sup> floor of the main building Global room 4 <sup>th</sup> floor of the main building Big room	<b>May 8<sup>th</sup> (Thurs.) Engineering course</b> ・ 7 <sup>th</sup> period 14 : 35～15 : 25 <b>with Thai students</b> <b>Shingapore students</b> Homae sensei <b>May 8<sup>th</sup> (Thurs.) Navigation course</b> ・ 7 <sup>th</sup> period 14 : 35～15 : 25 <b>with Thai students</b> <b>Shingapore students</b> Nagayama	5月1日（木）7限～8限 14 : 35～15 : 45  
<b>4<sup>th</sup> year</b> 4 <sup>th</sup> floor of the main building Global room <b>4<sup>th</sup> year</b> 4 <sup>th</sup> floor of	<b>May 9<sup>th</sup> (Fri.) Engineering course</b> ・ 5 <sup>rd</sup> period 12 : 55～13 : 35 <b>with Thai students</b> <b>Shingapore students</b> Nagayama <b>May 9<sup>th</sup> (Fri.) Navigation course</b> ・ 5 <sup>th</sup> period 12 : 55～13 : 35	5月9日（金）5限 12 : 55～13 : 35

the main building Big room	with Thai students Shingapore students Katsushima sensei	
1 <sup>st</sup> year Classroom	May 9 <sup>th</sup> (Fri.) Presentation ・ 7 <sup>th</sup> period 14 : 35~15 : 25 Nagayama, Gomi sennsei with Thai students Shingapore students	5月9日(金) 7・8限 14 : 35~15 : 45
3 <sup>rd</sup> year 4 <sup>th</sup> floor of the main building Global room 3 <sup>rd</sup> year 4 <sup>th</sup> floor of the main building Big room for navigation	May 13 <sup>th</sup> (Tues.) Engineering course ・ 7 <sup>th</sup> period 14 : 35~15 : 25 with Thai students Shingapore students Kanayama May 13 <sup>th</sup> (Tues.) Navigation course ・ 7 <sup>th</sup> period 14 : 35~15 : 25 with Thai students Shingapore students Nagayama	5月13日(金) 7・8限 14 : 35~15 : 45 

#### 英国・北アイルランド学生との交流学習 2014年7月

2014年7月3日(木)、商船学科2年生の特別教育活動の時間に、英国北アイルランドからインターンシップ研修に来ている学生2名との交流学習が行われた。商船学科の4年生、3年生の特別教育活動の授業にも参加してもらい、学生らと交流学習を行った。なお、この交流学習には、同時期にインターンシップ研修に来ていた米国ハワイ州出身の学生1名も参加し、カウアイ島の生活と文化についてプレゼンテーションをしてもらった。



#### 米国・ハワイ州カウアイ学生との交流学習 2014年7月

2014年7月9日(水)、商船学科1年生のクラスで、インターンシップ研修に来ていた米国ハワイ州出身の学生との交流学習が、HRの時間に行われた。カウアイ島についてのプレゼンテーションを聞いた。商船学科1年の学生は、特別教育活動の時間に、留学生への質問を各自で作成し、交流学習の準備をした。



#### シンガポール学生との交流学習 2014年10月

下記の日程で、インターンシップ研修に来ているシンガポール学生4名との交流学習を行った。事前学習として、学生らは質問を各自作成した。交流学習では、質問シートを使い、学生らは10分間ずつ、4名と質問タイムを楽しんだ。タブレットやスマートホンで画像を見せてもらったり、スペルを教えてもらったり、学生らは、交流学習を行った。

##### 1) 10月27日(月曜日)7限目(14:35-15:25) S2年

- ・商船学科2年航海コース(10人or9人で1グループ) 場所:航海学演習室(4階)
- ・商船学科2年機関コース(9人で1グループ) 場所:グローバル教室(4階)



2) 10月28日(火曜日) 7限目 8限目 S3年

- ・7限目(14:35-15:25) 商船学科3年機関コース Engineering course

場所: グローバル教室(4階)

5人で1グループ

- ・8限目(15:25-16:05) 商船学科3年航海コース Navigation course

場所: 航海学演習室(4階)

4人(5人)で1グループ



3) 10月31日(金曜日) 7限目(14:35-15:40) 商船学科1年

- ・商船学科1年航海コース(11人で1グループ)

場所: 航海学演習室(4階)

- ・商船学科1年機関コース(10人で1グループ)

場所: グローバル教室(4階)



シンガポール学生との交流学习を終えた学生の感想 2014年10月

ほぼ全員、参加学生らは「楽しかった」という感想を述べている。高学年になるにつれて、「聞き取れなかった」という学生がいるが、「以前よりも聞き取れた」「質問シートにならない質問をすることができた」と意欲的な学生もいる。

## ② 教員向け英語講座

昨年度に引き続き、富山高専教職員を対象に、毎週月、火、金曜日に【ヤングクラス】  
【シニアクラス】に分けて、教員向け英語力向上講座を実施した。主な内容は

- ・スピーチ(当番制)

- ・視聴覚教材を用いたスピーチ・プレゼン講座
- ・図書教材を用いた英語講座
- ・英語論文作成支援
- ・プレゼンテーション準備（スライド作成、原稿作成）支援

である。

実施内容や、講師の所見について、富山高専 海事人材育成プロジェクト実行委員に配布している「英語力向上プログラム 研修通信」にまとめられている。

教員向け英語力向上講座のまとめ

	実施時間	実施内容	実施場所
月曜日	11:00～12:00	【ヤングクラス】 毎回 1名～6名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室
火曜日	12:00～13:00	【シニアクラス】 毎回 1名～3名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室
金曜日	11:00～12:00	【ヤングクラス】 毎回 1名～6名程度参加 上述した内容を実施	第3会議室 (地域人材開発本部室)
	12:00～13:00	【シニアクラス】 毎回 1名～3名程度参加 上述した内容を実施	

#### 4. 教材

海事人材育成プロジェクトにより購入した教材はグローバル教育拠点教室に保管してある。教職員、学生が貸出対象である。貸出期間は特に決めてないが、貸出簿に記入して自由に借りることができる。

TOEIC 教材、英会話教材、電子辞書等を揃えており、これからも随時、教材を揃えて行く予定である。

### ■広島商船高専

#### 1. グローバル拠点概要

グローバル教育拠点の活用により、TOEIC の対策を行なっている。英語学習用教材を備えたグローバル教育拠点を学生に対して常時開放している。またグローバル教育拠点を使用して、外国人講師による英会話を希望者に対して実施している。

年度	平成 26 年度											
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用 人数	87	44	25	60	0	20	106	113	76	88	72	0
累計 人数	793	837	862	922	922	942	1048	1161	1237	1325	1397	1397

## 2. TOEIC

毎年 1 月に全学科の 4 年生を対象に TOEIC IP テストを実施している。今年度は、後期に商船学科 4 年生が乗船実習に参加するため、商船学科のみ 7 月に実施した。過去 5 年間の受験結果は次のとおりである。

表 1. TOEIC IP テスト 受験結果

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
平均点	244	242	272	242	239
最高点	410	505	-	490	605

## 3. 展開プログラム

グローバル教育拠点は学生に対して常時開放しており、毎日の昼休みや放課後等に自由に活用している。外国人講師による英会話は毎週火曜日の昼休みに実施しており、商船学科の学生を中心に毎回 20 名程度が参加している。その他、フィリピン MAAP 教員招聘による英語研修を実施した。また、学生への英語授業、教員への英会話及び英語での授業法について研修を開いた。



グローバル教育拠点での外国人講師による英会話の様子

#### 4. 教材

グローバル教育拠点において、用意されている英語教材は次のとおりである。学生による自主学習や英会話の際、必要に応じて使用している。

- ・ TOEIC テスト新公式問題集
- ・ やさしく学ぶ英語リポートプリント（中1～中3）
- ・ 英語カトレーニングソフト「えいご漬け」をインストールした PC

#### ■弓削商船高専

##### 1. グローバル拠点概要

英語担当教員は、特任助教であり以下に概説を行う。加えて MAAP 教員によるプログラムの展開も行った。グローバル拠点として、商船学科棟 2 階（西奥） 商船学科教員研究室の並びの 1 部屋をプロジェクト用に準備した。

##### 1 特命助教

- ・ 教員のキャリア：約 12 年（弓削商船で 3 年間非常勤の経験あり）
- ・ 勤務時数（週単位及び年度総時数）：単位認定なし、週 6 時間 200 年間

##### 2 特命助教

- ・ 教員のキャリア：約 27 年（弓削商船で 4 年間非常勤の経験あり）
- ・ 勤務時数（週単位及び年度総時数）：単位認定なし、週 2 時間 80 年間
- ・ 勤務内容（学生対応プログラム等）

春休み集中セミナー（英会話・TOEIC セミナー）

- ・学生の利用状況（概要）  
3～6人/日（2年生から5年生まで幅広い）

### 3 フィリピン MAAP 教員

- ・勤務時数（週単位及び総時数）：単位認定なし、1週間 27時間
- ・教員のキャリア：約14年  
(弓削商船で1回MAAP海事英語セミナー実施の経験あり)
- ・学生への提供プログラム：

MAAP 海事英語セミナー、11月10日～11月14日

弓削、大島、広島 MAAP 海事英語キャラバンセミナーの一環

年度	平成26年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用 人数	41	51	23	28	0	0	35	39	35	55	17	0
累計 人数	355	406	429	457	457	457	492	531	566	621	638	638

## 2. TOEIC

TOEIC 集中セミナーを夏休み及び春休みに行った。

受験者は65名であり、平均点スコアは275.6であった。卒業年度が同じ学年にて、昨年度とのスコア比較を行ったところ、スコアの上昇が見られた。

## 3. 展開プログラム

学生対応プログラムの他、TOEIC セミナーや英会話セミナーを実施した。

## 4. 教材

- ・本校英語担当教員と協力して、英語教材をそろえた。
- ・学生からアンケートをとり、ほしい教材（人気の教材）をそろえた。
- ・学生からは圧倒的にスピードラーニングをやりたいという要望であった。そのため1巻から32巻まで10セットそろえた。
- ・貸出しの規則を作り、貸出し簿もつけている。

## ■大島商船高専

### 1. グローバル拠点概要

専属教員（特命助教1名）が講座専用室に学生登校日に3時間常駐し、英語講座の実施、各種試験対策（就職・進学・TOEIC等）への対応を行っている。

曜日	月	火(※)	水	木	金
時間	15:00～18:00	09:30～12:30	15:00～18:00	15:00～18:00	15:00～18:00

(※) 火曜日：外国語演習(商船学科5年)の授業において活用

年度	平成26年度											
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	10	10	10	15	15	5	15	15				
累計人数	※上記は延べ人数 ※授業による利用者数(毎月約45名)											

## 2. TOEIC

個人での受験・IP受験を問わず、学生からの要望や個人能力に応じて講座を開講した。  
また、TOEIC IPテストにおいてスコア400点以上を取ることを目標とした。

受験日	受験者数	スコア			備考
		平均	最高	最低	
2014年7月3日	8名	306.9	410	235	専攻科生
予定2015年1月	43名	-	-	-	本科4年生

### TOEIC ハーフテストの受験状況 < 本科生(商船学科) >

受験日	受験者数	スコア			備考
		平均	最高	最低	
2014年4月3日	43名	26.6	44	17	本科4年生

(ハーフテスト：100問、1時間で実施される試験)

## 3. 展開プログラム

- ・英語講座を実施した。
- ・就職各種試験対策や進学試験対策を実施した。
- ・TOEIC対策を実施した。

## 4. 教材

テキスト教材(約100冊)と電子辞書教材(約30点)を取り揃え、講義時に活用する。  
テキスト教材については、常時、学生への貸し出しを行っている。(貸出率約30%)

## ■鳥羽商船高専

### 1. グローバル拠点概要

TOEIC 対策、英会話を中心に自学自習もできるよう、時間割を決め、来た学生の対応を行う。時間割以外でも随時対応した。利用者数は4月より半年、4年生が乗船実習に行ったため前期は少ないが、年間を通して、増加傾向が見られた。

年度	平成 26 年度											
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用 人数	8	19	13	17	4	7	20	29	33	30	17	0
累計 人数	204	223	236	253	257	264	284	313	346	376	393	393

### 2. TOEIC

TOEIC 対策は曜日ごとに講座内容を提示したが、学生毎に曜日と時間を決めて参加し、個別の内容で進められることが多かった。これより、学生に合わせた進捗調整ができた。

受験日	受験者数	スコア			備考
		平均	最高	最低	
6 月	32	280	-	-	
9 月	2	423	-	-	
12 月	38	369	-	-	

### 3. 展開プログラム

曜日ごとに講義内容を設定し、興味のある学生が参加できる体制をとった。

月曜日：復習（中学レベル）、TOEIC 対策

火曜日：復習（中学レベル）、TOEIC 対策

水曜日：TOEIC 対策

木曜日：TOEIC 対策、試験対策・自学自習の質問対応

復習（リスニング、ライティング）

英会話

金曜日：復習（中学レベル）、英検対策

また、利用学生数を増やすために次のプログラムを計画した。

#### ・ベーシック

ショートタームプログラムとして、昼休みの 15 分をあてる。

少人数制のグループアクティビティにてテキストを用いず、イラストカード等を利用して、自分で考え想像したことを相手に伝えるコミュニケーション能力を養う。英語に抵抗をもたず、興味を持たせることも目的の 1 つとした。

- ・ハイレベル

ビジネス英語ライクなプログラム。

自己紹介から始まり、身近なテーマについてプレゼンテーションやアピールが行えるように取り組む。

本校国際交流プログラムでは、現地で発表を行うこともある。しかし、はじめにプレッシャーの少ないグローバル拠点にて、発表まで行えるようにする。

自己アピールや卒業研究の本校以外での発表や国際交流プログラム参加者の事前研修なども視野に入れている。

- ・TOEIC 特別対策講座

毎週火曜日の放課後 1 時間程度、ヒアリングの小テストとその確認を行う。また次回テストのための単語の暗記等自習も助ける指導を行っている。

- ・自学自習

スペースを開放し、気軽に質問ができる区画を作成する。ポスターやパンフレット等を作成し、入室しやすい雰囲気浸透させる。

- ・スピーチコンテスト参加者の利用

高専機構主催、東海北陸地区で開催された **THE 8<sup>th</sup> ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST FOR STUDENTS OF COLLEGE OF TECHNOLOGY** に参加  
第 30 回高等学校英語弁論大会、審査通過、発表

#### 4. 教材

テキスト教材と電子教材を取り揃え、講義時に活用している。テキストは、本校教員のみならず塾や大学で英語を教えている先生に聞き取り調査を行い選定した。DVD 等の電子教材より、テキストや CD がよく利用されている。また、基本から取り組みやすいように配慮し、小学生用教材等を取りそろえた。

## ●平成 27 年度報告

平成 25 年度からの大型練習船の実習時期変更により、これまで英語力向上の指標として TOEIC スコアをみてきた 4 年生が、平成 26 年度から半年間乗船するようになった。このため、英語力向上プログラムが十分に機能せず、スコアにも向上が見られなかった。本プログラムの数値的目標は卒業時におけるスコア 500 のため、本年度からは 5 年生にも引き続き英語力向上プログラムを実施し、5 年生終了時におけるスコアでの検証を行った。また各校、これまでの英語力向上プログラムを継続または発展させるべく、5 校のプログラムを検証した。また、英語教育補助教員による各種実施プログラムを整理し、今後の英語教育への反映を視野に入れた、グローバル拠点及び英語教育補助教員設置による成果の評価・検証を行った。

### ・ TOEIC スコアの変位

拠点利用と非利用学生の TOEIC スコア比較として、利用学生の平均と最高がそれぞれ 342、545、非利用学生の平均と最高がそれぞれ 275、420 という結果があった。これより平均で 70 程度、最高で 120 程度の向上が見られることから、拠点利用の効果が見て取れる。図に各校の TOEIC スコアの変位と 5 高専商船学科すべての TOEIC スコアの変位を重ね合わせたグラフを示す。本年度検討した 5 年生の TOEIC スコア平均は学校により上下が見られたが、これは就職活動や卒業研究、その他卒業に向けて取り組む課題が多い 5 年生の拠点利用頻度が影響したためと考えられる。しかし、全体的には上昇傾向の成果が表れ、低学年からの継続的な利用が、スコア向上につながると考えられる。参考まで、各校のスコア変位のグラフを合わせて示す。

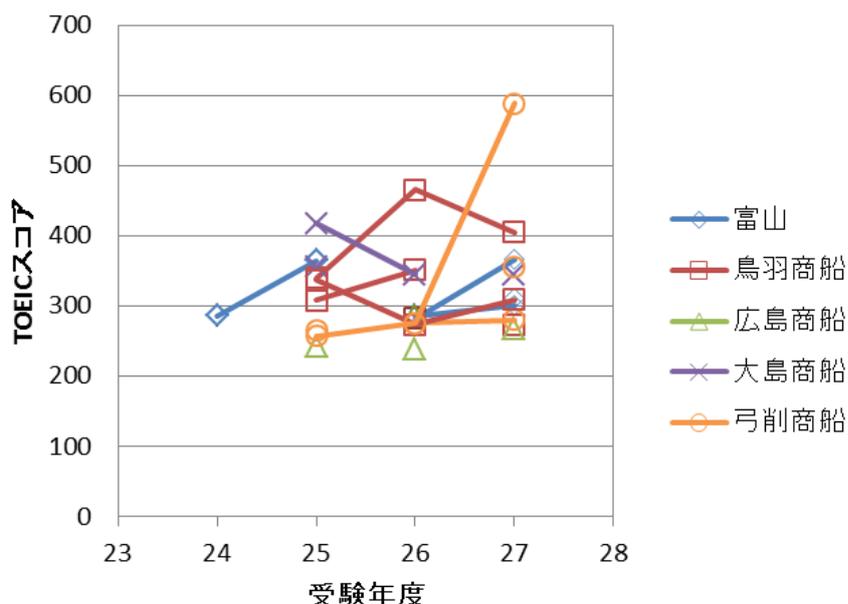


図 5 高専商船学科すべての TOEIC スコアの推移

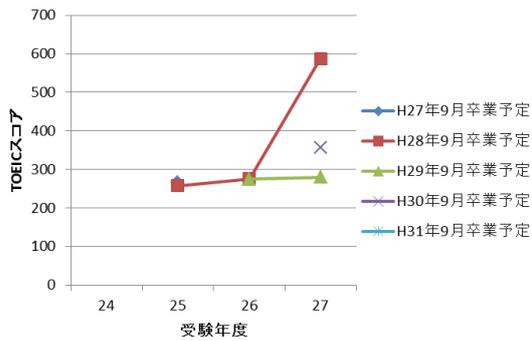
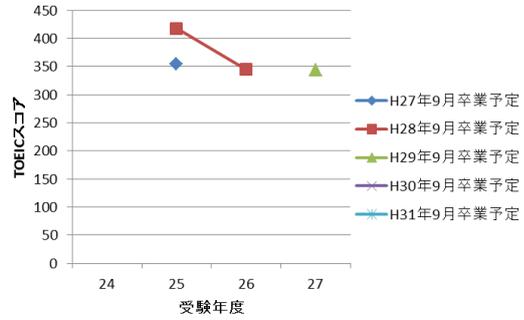
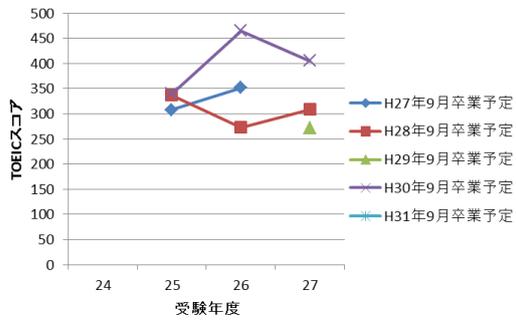
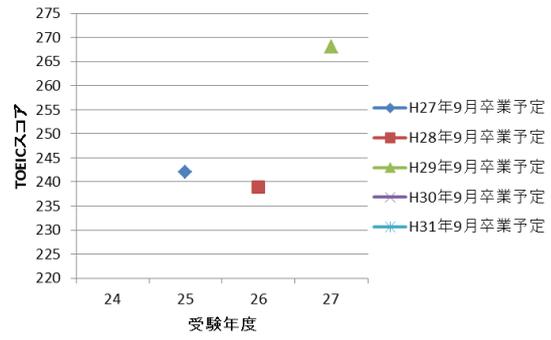
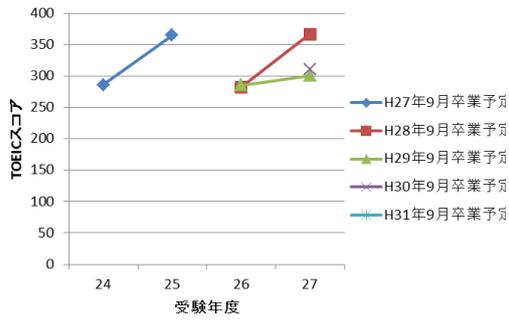


図 学校別 TOEIC スコアの推移

## ・グローバル拠点利用率向上の検討

本年度はプロジェクト最終年度を迎える時期であり、プロジェクト終了後も効果的な英語力向上プロジェクトが継続できるよう、課題抽出を行った。また、グローバル教育拠点を利用した英語教育補助教員による英語教育を確立するため、これまでのグローバル拠点利用状況の推移について検討した。また補助教員を含めた利用率向上に関するアンケートを実施した。

図に各校のグローバル拠点利用について、年度毎にみた積算利用人数の推移を示す。授業で利用した学校では利用者数が大きくなっているが、いずれの学校も、夏季休業や春季休業を除き、一定の利用率があることが分かる。また年度を増すごとに利用者数の増加が見て取れる。これは、教材の充実化やポスターや声掛けによる認知度の上昇が大きな要因と考えられる。しかし、一度利用した学生の繰り返し参加や、他の学生を誘い共に利用するグループでの参加も見られた。これより、開発し実施してきたプログラムが、英語を学ぶ意識の向上につながり利用率向上につながったともみられる。

また、各校で購入した教材の検討及び展開したプログラムの検証、及び英語力向上に寄与する項目の共有化を図るため、教材リストの整理を行うと共に利用率の高い教材や効果的な教材について情報をまとめた。

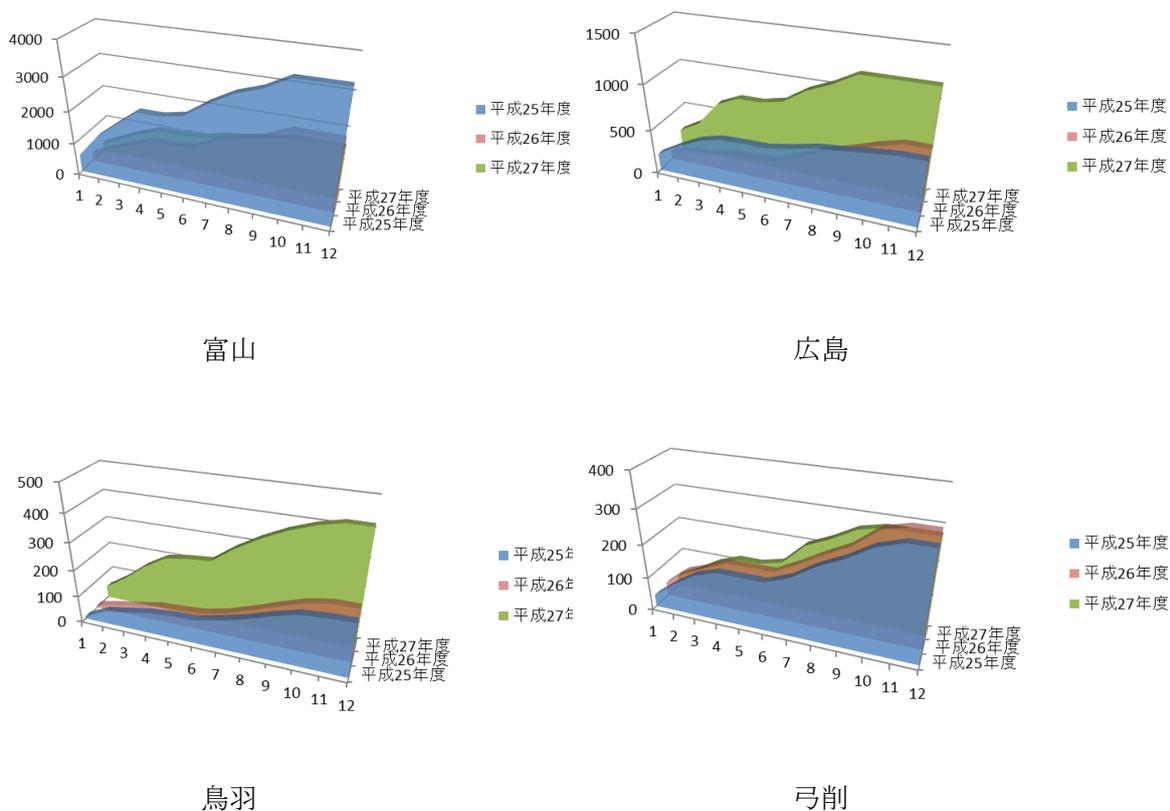


図 各学校のグローバル拠点、積算利用人数の推移

グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(平成24年度購入)				
書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
はじめての新TOEICテスト本番模試	5			
TOEIC (R) テスト本番模試	5			
TOEICテスト新公式問題集	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集 Vol.2	10	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集 Vol.3	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集 Vol.4	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集 Vol.5	10	○	○	○
エブリディイングリッシュ(1セット)	2			
TOEIC (R) テスト650点突破マラソン(1セット)	1			
英書郎 第六版	2			
ビジネス技術 実用英語大辞典	2			
The New Dictionary of English Composition for Science	2			
新世代ディクショナリーE-DIC	2			
英語ロジカル・ライティング講座	1			
毎日の英文法 頭の中に「英語のパターン」をつくる	1			
敬語の英語	1			
マスターしておきたい技術英語の基本	1			
日本人がかならず間違える英語	1			
英会話・ぜったい・音読	1			
ネイティブはたった100語で話している!	1			
日本人が知らないネイティブがよく使う英会話フレーズ400	1			
日本人が知らないネイティブシャドウイングであなたの英語が変わる	1			
ゼロからスタートシャドーイング	1			
ゼロからスタートディクテーション	1			
絶対『英語の耳』になる! ビジネス英語リスニング 難関トピック 50	1			
シャドーイングで学ぶTOEIC TEST 860突破ボキャブラリー	1			
新TOEICテスト900点突破20日間特訓プログラム	1			
新TOEIC R TEST出る順で学ぶボキャブラリー990	1			
たったの87パターンでこんなに「聞こえる」英語リスニング	1			
たったの72パターンでこんなに話せる英会話	1			
72パターンに+αで何でも話せる英会話	1			
質問にパッと答える英会話一問一答トレーニング	1			
授業が変わる! 最強の英語ペアワーク&グループワーク25	1			
スピードラーニング 英語1~16巻	2	○		
A Communicative Grammar of English Geoffrey Leech and Jan Svartvik	1			
The Communicative Grammar of English Workbook	1			
はじめての船上英会話	10			
Surfing English	10			
艦長ホレーション DVD	1			
ホップ・ロー・海 の 勇者 DVDBOX Vol.1~8	1			
白い嵐 アト・バンス・コレクターズ・エディション DVD	1			
英語学習ソフト 超字幕/インビクタス負けざる者たち	1			
英語学習ソフト 超字幕/しあわせの隠れ場所	1			
賢い人の英語コミュニケーション法	1			
英文テクニカルライティング70の鉄則	1			
書く技術・伝える技術	1			
BASIC800で書ける! 理系英文	1			
BASIC800クイズで学ぶ! 理系英文	1			
Heads Up Level4 Student Book with MultiROM	12		○	
Heads Up Level4 Teacher's Edition	1		○	
Heads Up Level4 Class CD	1		○	
Speak Now Level4 Student Book with Online Practice	10			
Speak Now Level4 Teacher's Book with Testing CD-ROM and Online Practice	1			
Speak Now Level4 Class Audio CD	1			

Speak Now All levels DVD	1			
Passport to Work Student Book with Full Audio CD	10			
Passport to Work Workbook	10			
Passport to Work Teacher's Book	1			
Tactics for TOEIC Listening and Reading Test Pack	10		○	
Tactics for Listening: 3ed Edition(Expanding) Student Book	10		○	○
Tactics for Listening: 3ed Edition(Expanding) Teacher's Resource Pack	1		○	○
Tactics for Listening: 3ed Edition(Expanding) Class Audio CDs(4)	1		○	○
Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Listening and Reading, Introductory Course, 5th Edition	10			
Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Advanced Course 5th Edition	10			
Successful Key to the TOEIC Test 1(2nd Edition)	10	○	○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 2 Student Book	10	○	○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 2 CD	1	○	○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 2 Teacher's Book	1	○	○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 3 Student Book	10		○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 3 CD	1		○	○
Sounds Good: On track to listening success, Student Book 3 Teacher's Book	1		○	○
TOEIC®テスト新・必修単語（徹底分析シリーズ）	5	○	○	○
速読英単語 入門編 [改訂第2版]	5	○	○	○
速読英単語 入門編 [改訂第2版] 対応CD	5	○	○	○
英語教材「聞き流すだけで英語をマスター」ピーターラビット (CD)	5		○	○
ベッキー・グルーエルde英語耳 友達との会話編	5	○	○	○
ベッキー・グルーエルde英語耳 仕事での会話編	5	○	○	○
DUO 3.0/CD基礎用	5	○	○	○
DUO 3.0	5	○	○	○
新TOEICテスト はじめてでも600点が取れる！	5	○	○	○
超整理!TOEICテスト ビジュアル英単語	10			
TOEIC®TEST英単語スマート600	5	○	○	○
TOEIC®TEST英単語スマート800	5	○	○	○
TOEIC®TEST英単語スマート990	5	○	○	○
中学3年間の英語で身につける英会話	5		○	○
中学3年間の英語を10時間で復習する本	5	○	○	○
高校3年間の英語を10日間で復習する本	5	○	○	○
魔法のリスニング	5		○	
ネイティブ厳選 日常生活英会話まる覚え	5		○	
ネイティブ厳選 街の英会話まる覚え	5		○	
ネイティブ厳選 ゼットイ伝わる英会話まる覚え	5		○	
魔法のコロケーション 英会話表現1000	5		○	○
魔法の英会話 プレズ500—中学英語で世界中どこでも通じる	6		○	
99パターンでわかる 中学英語文型の総整理	5	○	○	○
長文が読めるようになる 中学英単語必修1200	5	○	○	○
Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル	5	○	○	○
Mr. Evineの中学英文法+αで話せるドリル	5	○	○	○
Mr. Evineの英文法ブリッジコース[中学修了—高校基礎]	5	○	○	○
123英会話—1日10分、1カ月で英語を話せるようになる!	5		○	○
PCで徹底演習 TOEIC TESTリーディング	5		○	
PCで徹底演習TOEIC TESTリスニング	5		○	
TOEIC TEST新公式問題集	10		○	
TOEIC TEST新公式問題集Vol.2	10	○	○	○
TOEIC TEST新公式問題集Vol.3	10		○	○
TOEIC TEST新公式問題集Vol.4	10		○	○

TOEIC TEST新公式問題集Vol.5	10		○	○
新TOEICテスト リスニング問題を鬼のように特訓するソフト!	5		○	
English Factory しごとの英語	5			
速読速聴・英単語TOEIC TEST STANDARD 1800	5	○	○	○
TOEICテストはじめて覚える英単語と英熟語	5	○	○	○
TOEIC TEST文法完全攻略	5	○	○	○
速読速聴・英単語TOEIC TEST GLOBAL 900	5	○	○	○
Surfing English	10		○	

グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(平成25年度購入)

書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
はじめての新TOEICテスト本番模試	5			
TOEICテスト新公式問題集	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集Vol.2	5	○	○	○
TOEICテスト新公式問題集Vol.5	5	○	○	○
ホーンブローワー海の勇者 DVD Vol.1~8	1			
艦長ホレーショ DVD	1			
白い嵐アドバンス・コレクターズ・エディション DVD	1			
海技士1N徹底攻略問題集	4	○	○	○
海技士2N徹底攻略問題集	4	○	○	○
海技士1E徹底攻略問題集	4	○	○	○
海技士2E徹底攻略問題集	4	○	○	○
英語学習ソフト 超字幕/しあわせの隠れ場所	1			
マスター・アンド・コマンダー DVD	1			
英和 海洋航海用語辞典	1	○	○	○
英和 船舶用機関用語辞典	1	○	○	○
和英・英和 総合海事用語辞典	1	○	○	○
スティーブ・ジョブズ伝説のスピーチ&プレゼン	1			
自分の気持ちを1分間英語つぶやいてみる	1		○	○
本当に「英語を話したい」君へ	1			
うまい、と言われる1分間スピーチ	1		○	○
絶対発音力	1			
話したい人のための丸ごと覚える厳選英文100	1			
Surfing English	5			
Developing Tactics for Listening(3rd ed) Student book	5		○	○
Developing Tactics for Listening(3rd ed) Teacher's Resource pack	1		○	○
Elementary Select Readings(2nd ed) Student book	5		○	○
Elementary Select Readings(2nd ed) Class Audio CD	1		○	○
Tetics for the TOEIC Test (Introductory Course)	5	○	○	○
Practical English Usage (3rd ed)	1	○	○	○
American Headway Level2 Student Book with Multi-Rom	5		○	○
American Headway Level2 Teacher's Book	1		○	○
American Headway Level2 Class Audio CDs	1		○	○
American Headway Starter Student Book with Multi-Rom	5	○	○	○
American Headway Starter Teacher's Book	1	○	○	○
American Headway Starter Class Audio CDs	1	○	○	○
Building Skills for the New TOEIC Test (2nd ed)	5	○	○	○
Reading Power 2(4th ed) Student Book	5		○	○
Reading Power 2(4th ed) Teacher's Guide with Answer Key	1		○	○
Perfect Practice for the TOEIC Test	5		○	○
Listening Promoter for the TOEIC Test	5		○	○
Basic Reading for the TOEIC Test	5	○	○	○
Rapid Reading with TOEIC Test Vocabulary	5		○	○
The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	5		○	○
AFP Science Report	5		○	○
Talk a Lot Book One Student book	5	○	○	○
Talk a Lot Book One Audio CD	1		○	○

Topic Talk Issues Student book	5			
Topic Talk Issues Audio CD	1			
PCで徹底演習TOEIC TEST模擬試験3回分	5		○	○
英検4級総合対策教本	5			
2013年度版英検4級過去6回全問題集	5			
英検5級総合対策教本	5			
小学生のためのよくわかる英検合格ドリル5級	5			
2013年度版英検5級過去6回全問題集	5			
児童英検きつざイングリッシュ	5			
児童英検全グレード対応ドリル	5			
最新版 留学&ホームステイのための英会話	5	○	○	○
漢字カード第1集	1	○	○	○
漢字カード第2集	1	○	○	○
(拠点整備用品) 漢字カード第3集 1冊	1	○	○	○
生活図鑑カード のりものカード	1	○	○	○
生活図鑑カード お店カード	1	○	○	○
生活図鑑カード 生活道具カード	1	○	○	○
英語教材DVD 旅行・飛行機(英語)	5			
CD付き日常生活を英語でドンドン説明してみよう	5		○	○
Surfing English	4		○	

グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(平成26年度購入)

書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
Hornblower and the Hotspur	1			
Hornblower During the Crisis and Two Stories	1			
Hornblowers Temptation and the Last	1			
Hornblower and the Atropos	1			
Beat to Quarters	1			
Ship of the Line	1			
Flying Colours	1			
Commodore Hornblower	1			
Lord Hornblower	1			
Admiral Hornblower in the West Indies	1			
英会話3行革命	1		○	○
TOEIC新公式問題集Vol.5	15	○	○	○
無線通信士用英会話CD	2	○	○	○
新TOEIC TEST 正攻法で攻める パート7 読解問題	1			
新TOEIC TEST 出る単特急 金のフレーズ	1		○	
新TOEIC TEST 書き込みドリル(文法編)	1			
10分×10回×10日間 TOEIC TEST リーディング Part 7 トリプル10	2			
英語耳 発音ができるとリスニングができる	1			
瞬時にわかる英語リスニング大特訓	1			
一億人の英文法	1			
キクブン 270	1			
キクジュク Basic 1800	1			
留学のほえづら もう笑うしかない!海外留学生22人の泣きつら体験	1			
ネイティブ500人に聞いた!日本人が知らない、はずむ英会話術	1			
単語耳 英単語八千を一生忘れない「完全な英語耳」実践編v.2	1			
英語耳ドリル 発音&リスニングは歌でマスター	1			
海外経験ゼロでも仕事が忙しくても「英語は1年」でマスターできる	1			
CD2枚付 英語で楽しく雑談できる本	1			
CD3枚付 絶対『英語の口』になる!リアルな日常英会話で鍛えるシャドーイング大特訓50	2			
CD3枚付 絶対『英語の耳』になる!クールなネイティブ英語で鍛える!口語表現&スラング・リスニング200	2			

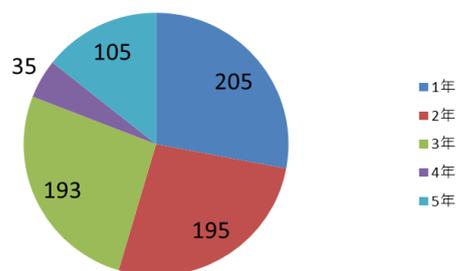
CD怖いくらい通じるカタカナ英語の法則・ネイティブも驚いた画期的発音術 (ブルーボックス)	1			
CD付 英語の発音 直前6時間の技術 (しごとのミニマム英語)	1			
CD付 英語のプレゼン 直前5日間の技術 (しごとのミニマム英語)	2			
突然聞きとれる! たちまち話せる! 英語は「耳読」にかぎる! (CD付)	1			
英語口 英文法ができると英会話ができる 初級編 1	1			
英語口 英文法ができると英会話ができる 中級編 1	1			
英語で授業を受けてみる【中学校編】	1			
奇跡の音(ミラクルリスニング)8000ヘルツ英語聴覚セラピー	2			
日常英会話表現 4000・The simplest is the best	1			
TOEICテスト 新公式問題集 Vol. 6	5			
聞いて覚える英単語キクタンTOEIC Test Score990	2			
エディ・ウッド・ゴー!! ハワイの海に消えた永遠の英雄伝説「エディ・アイカウ物語」	2			
Eddie Would Go *洋書 ハードカバー	3			
Eddie Would Go *洋書 ペーパーバック	2			
グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(平成27年度購入)				
書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
英語スピード・ライティング教本	1		○	○
Navigating English	3			
1・2級海技士 はじめての英語指南書	3			
グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(平成28年度購入)				
書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
Let's Enjoy Maritime English				○
グローバル教育拠点整備用品 教科書・教材 内訳一覧(期間内)				
書籍・ソフト名	冊数	① よく利用されているもの	② 特に英語力向上に効果があると期待しているもの	③ 5商船系高専で共有したほうがよいと考えるもの
やさしく学ぶ英語リポートプリント中 1	10			
やさしく学ぶ英語リポートプリント中 2	10			
やさしく学ぶ英語リポートプリント中 3	10			
TOEICテスト新公式問題集 Vol.2	10	○		
TOEICテスト新公式問題集 Vol.3	10	○		
Surfing English	15			
えいご漬けパイリンガルシステム	20	○		
えいご漬け改訂版	20	○		
えいご漬けルールとしくみ	20	○		
えいご漬け2回戦	20	○		
えいご漬け+対話	20	○		
TOEICテスト新公式問題集Vol.2	10	○		
TOEICテスト新公式問題集 Vol.3	10	○		
新TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア	20			
新TOEIC TEST 正解特急 ルール55	20			
新TOEIC TEST 模試特急 200問1本勝負	20			
新TOEIC TEST 時短特急 ミニ模試×5回	20			
1駅1題 新TOEIC TEST 文法特急	20			
新TOEIC TEST 文法特急2 急所アタック編	20			
新TOEIC TEST 900点特急 パート5&6	20			
TOEICテスト 新公式問題集 Vol.4	20	○		

TOEICテスト 新公式問題集 Vol.5	20	○		
DUO 3.0	20		○	
DUO 3.0/CD基礎用	20		○	
DUO 3.0/CD復習用	20		○	
やさしく学ぶ英語リピートプリント 中1	10			
やさしく学ぶ英語リピートプリント 中2	10			
やさしく学ぶ英語リピートプリント 中3	10			
1 駅 1 台 新TOEIC TEST 読解特急	20			
新TOEIC TEST 読解特急2	20			
新TOEIC TEST 読解特急3	20			
新TOEIC TEST 読解特急4 ビジネス文書編	20			
新TOEIC TEST パート1・2 特急難化対策ドリル	20			
新TOEIC TEST パート1・2特急II 出る間 難問200	20			
新TOEIC TEST パート3&4 特急実力養成ドリル	20			
新TOEIC TEST パート3&4特急II 出る間 総仕上げ	20			
新TOEIC TEST 読解特急5 ダブルパッケージ編	20			
新TOEIC TEST 正解特急2 実戦模試編	20			
新TOEIC TEST 出る単特急 金のフレーズ	20			
1駅1題 新TOEIC TEST 単語特急	20			
新TOEIC TEST 単語特急2 語彙力倍増編	20			
新TOEIC TEST 単語特急3 頻出語言い換え集	20			
新TOEIC TEST 熟語特急 全パート攻略	20			
新TOEIC TEST 入門特急 とれる600点	20			
ECDIS Procedure guide 1st 2012 Edition/WITHERBY Seamanship	3			
The ECDIS Manual 1st 2012 Edition Publisher:WITHERBY Seamanship	3			
From Paper chart to ECDIS a Practical Voyage Plan 1st 2009 Edition	3			
Integrated Bridge System Vol.1 & 2 Radar & AIS/ECDIS and positioning 2010 Edition	3			
[Operational use of ECDIS(Model course 1.27)2000 Edition]	3			
英和海洋航海用語辞典	20			
無線通信士用 英会話CD	20			
Step-by-Step Prep for TOEIC TEST ステップ式徹底演 習<基礎>編	22			
Step-by-Step Prep for TOEIC TEST ステップ式徹底演 習<中級>編	22			
Step-by-Step Prep for TOEIC TEST ステップ式徹底演 習<上級>編	22			
TOEICテストへのニューアプローチ-Essential Approach for the TOEIC Test	22			
TOEICテストトータル演習-Total Strategy for the TOEIC Test	22			

更に、学生に対して「グローバル拠点利用に関するアンケート」を行った結果を示す。このアンケートは、学生から見たグローバル拠点の利用状況と利用目的、その効果を見るもので、最終年度に向けて課題を抽出することが目的である。アンケートは乗船実習中の学生を除く5高専商船学科全員を対象とした。以下、設問ごとの設問と集計結果を示す。

問1 学年と所属コースを教えてください。

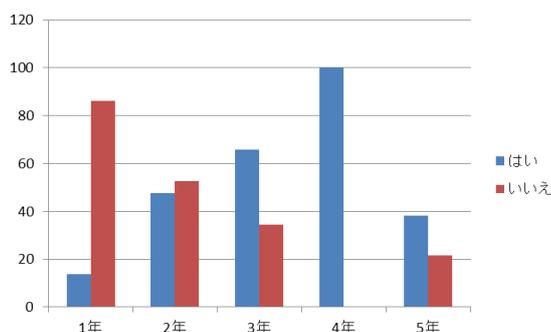
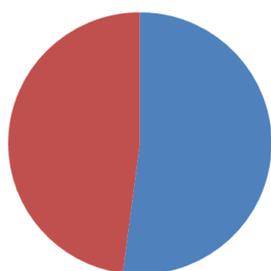
\_\_\_\_\_年 航海・機関・共通クラス (○で囲んでください)



回答者学年別人数

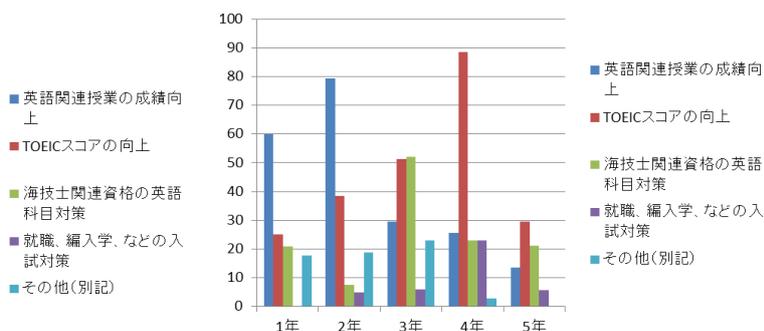
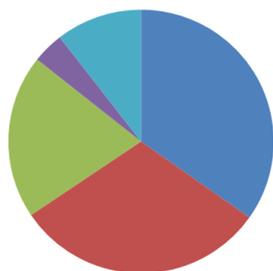
問2 グローバル拠点(英語補助教員や特別教員のいる部屋)を使ったことがありますか?

はい いいえ→問16に進んでください。該当する項目にしてください。



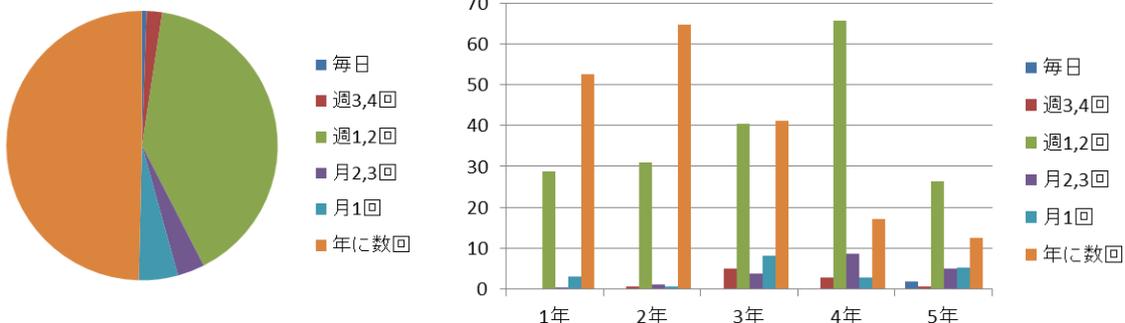
問3 主な利用目的を教えてください。該当する項目にしてください。(複数選択可)

- 英語関連授業の成績向上
- TOEICスコアの向上
- 海技士関連資格の英語科目対策
- 就職、編入学、などの入試対策
- インターンシップや留学の事前学習
- その他 ( )



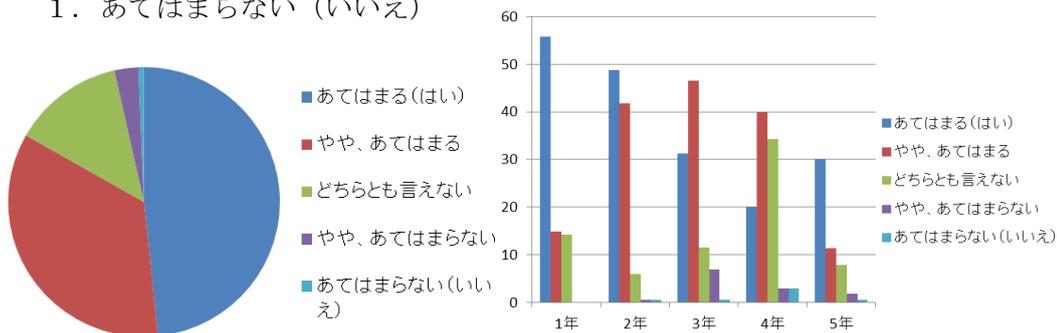
問4 平均してどのくらい使ったか教えてください。

□毎日 □週3,4回 □週1,2回 □月2,3回 □月1回 □年に数回



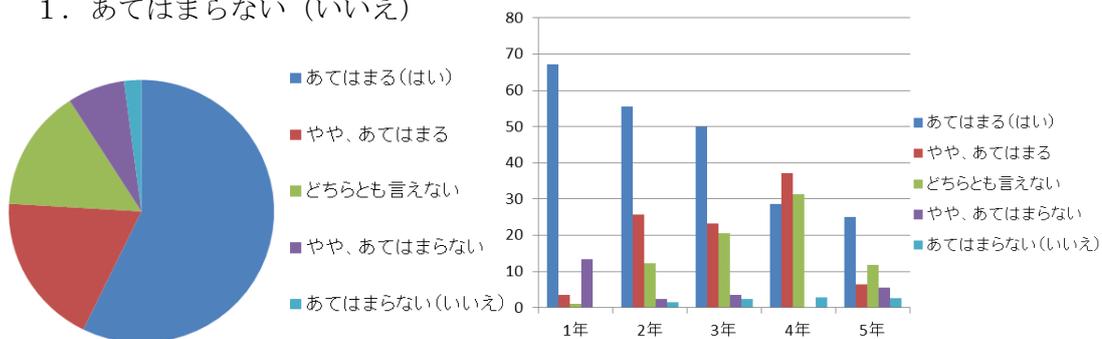
問5 英語の先生（英語補助教員や特別教員）の説明はわかりやすかったですか？

5. あてはまる（はい）（該当番号を、○で囲んでください）
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない（いいえ）



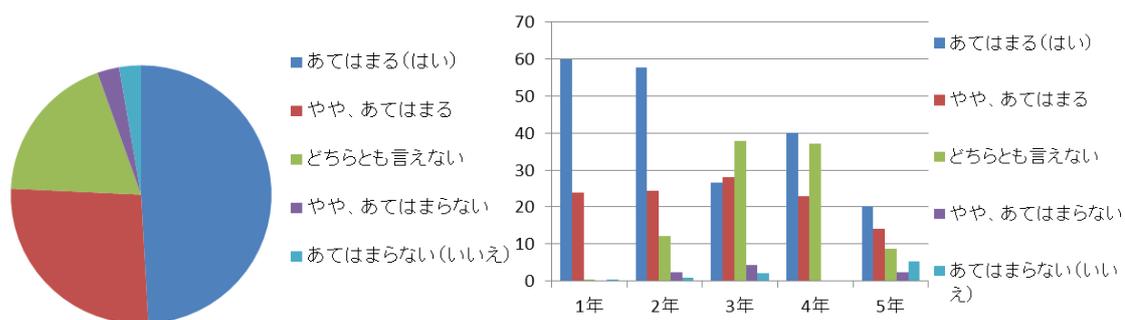
問6 外国人と英語で会話をしたい、と思うようになりましたか？

5. あてはまる（はい）
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない（いいえ）



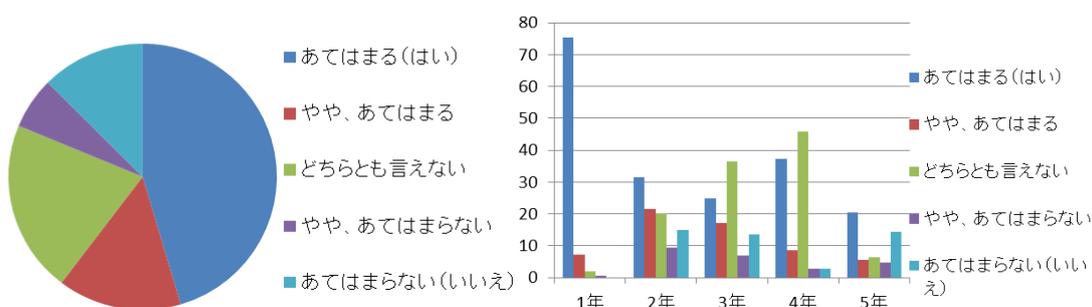
問7 英語をもっと勉強したいと思うようになりましたか？

5. あてはまる (はい)
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない (いいえ)



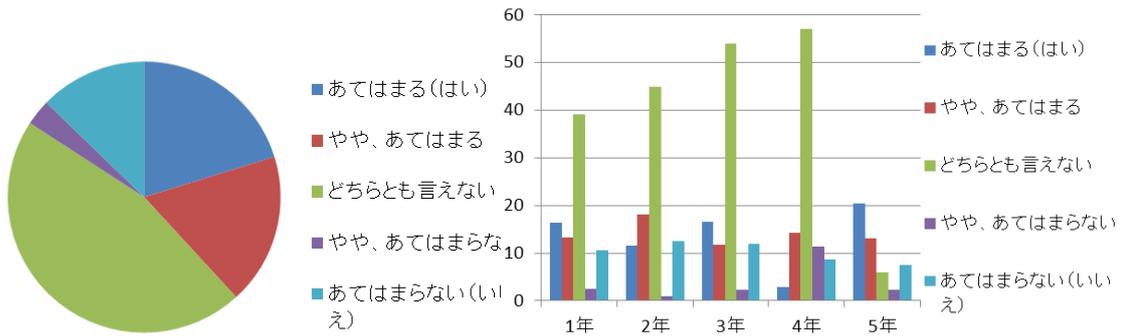
問8 外航船舶に乗りたいと思うようになりましたか？

5. あてはまる (はい)
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない (いいえ)



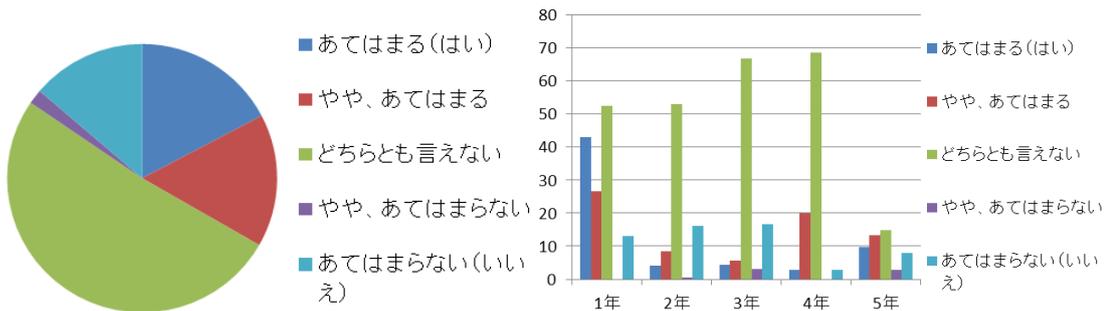
問9 TOEIC の試験対策に役立ちましたか？

5. あてはまる (はい)
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない (いいえ)



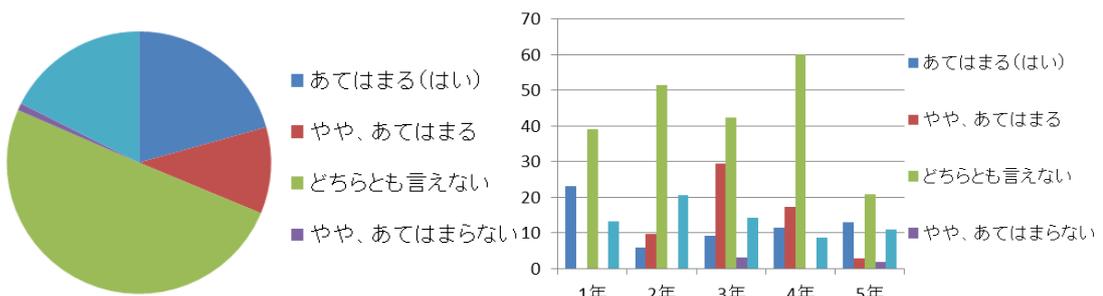
問 1 1 就職採用試験や編入学試験に役立ちましたか？

5. あてはまる (はい)
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない (いいえ)



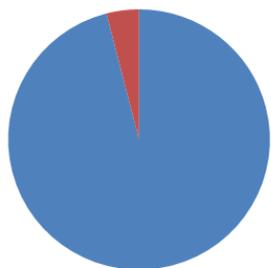
問 1 2 インターンシップや留学などで役に立ちましたか？

5. あてはまる (はい)
4. やや、あてはまる
3. どちらとも言えない
2. やや、あてはまらない
1. あてはまらない (いいえ)

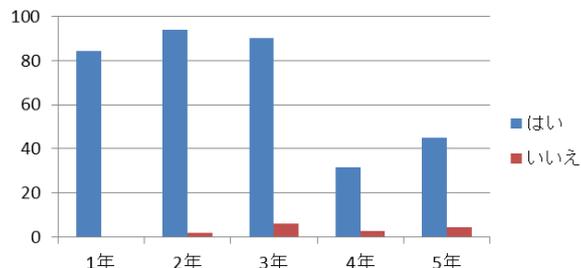


問13 グローバル拠点（英語補助教員や特別教員のいる部屋）を利用して良かったですか？

□はい □いいえ

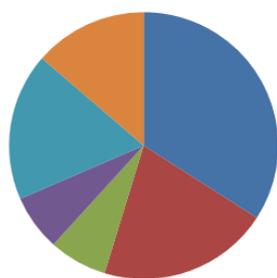


■はい  
■いいえ

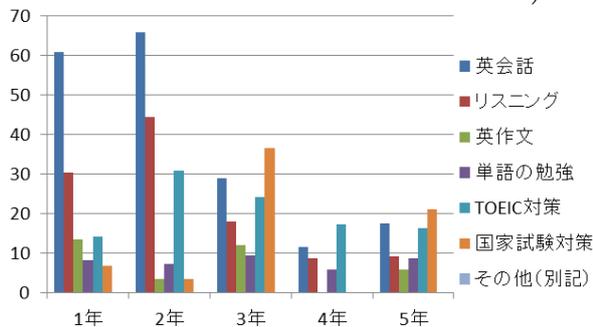


問14 特に良かった内容を教えてください。

- 英会話
- リスニング
- 英作文
- 単語の勉強
- TOEIC 対策
- 国家試験対策
- その他 ( )



■英会話  
■リスニング  
■英作文  
■単語の勉強  
■TOEIC対策  
■国家試験対策  
■その他(別記)



問16 問2で、「いいえ」に回答した方にお聞きします。

グローバル拠点（英語補助教員のいる部屋）を使わなかった理由を教えてください。例）あることを知らなかった。利用できる時間を知らなかった。など

- ・存在、あること、場所、何をしているかを知らなかった。
- ・催しているものが、グローバル拠点に関したものは知らなかった。
- ・時間がなかった。（部活や昼食の時間、他の勉強など）
- ・参加したいと思っているが、参加しにくい。
- ・レベルが低い。
- ・まだ利用しなくてもよいと思った。必要性を感じない。
- ・内航船を希望している。
- ・基礎力がないので行きにくい、勇気がなかった。

等

問17 ぜひ利用したくなる企画やイベント、アイデア、英語に関して欲しいと思う教材など、ありましたら教えてください。

- ・強制参加
- ・映画を見る
- ・季節のイベント
- ・教科書にない実用英語
- ・TOEIC 模擬テスト
- ・多読の本を増やしてほしい
- ・国家試験対策
- ・英語の授業での紹介
- ・パーティー形式
- ・個別対応
- ・体を動かすもの、ゲーム形式
- ・長文読解
- ・長期休暇での合宿
- ・寮の歓迎会
- ・中学生程度の教材
- ・勉強の仕方を知りたい
- ・放課後に時間を作ってほしい
- ・船員と英語で話す機会がほしい
- ・もっと情報がほしい

等

### ●プロジェクト最終年度に向けて

プロジェクト開始から本年度まで、英語教育補助教員の配置、グローバル拠点の整備を行いながら各校プログラムを検討し実施してきた。更に情報共有を行いながら、プログラムの展開、確立を実施してきた。これより、学生の利用率が上昇し、TOEIC のスコアアップ等の結果が確認できた。

関係教員以外にも学生アンケートによる効果を検証したところ、利用または非利用の結果から、全高専では約 52%の学生が「利用したことがある」との結果になった。現在すべての学生の利用までは至っていないが、高学年になるに従い利用者数が増加する結果となった。利用目的は、低学年が授業の成績向上、上級生ほど TOEIC スコアや海技士試験、就職のための英語が多くなった。しかし求められるレベルが上がるためか、低学年ほど授業や説明のわかりやすさに対する印象がよく、外航船社への就職意識が高いことが確認された。利用による試験やインターシップでの効果は、「どちらとも言えない」という結果が多かったため、グローバル拠点の利用効果に対する考えが減少傾向にあるとも見えるが、結果が見えるまで時間がかかる学習でもあり、低学年からの継続的利用が望まれる。

一方で、「グローバル拠点をよく知らない」、または「行きづらい」という声も聞こえた。プログラムの向上はもとより、学生への情報提供に関する課題が明らかになった。

グローバル拠点を利用したことに対する学生満足度は高く、成果を出すプログラムを共有化すると共に、プロジェクト終了後においても本プログラムを継続可能とする体制が必要である。最終年度は、入学時の導入過程を見直す等、教材やプログラムについての活用方法と学生が苦手と感じる項目の精査等を行い、プログラムの確立を目指す。

- 平成 28 年 3 月発行
- 大学間連携共同教育推進事業（平成 24 年度採択）
- 平成 24～27 年度 海事分野における高専・産業界連携による人材育成システムの開発  
グローバル教育拠点の活用 中間報告
- 編集・発行：鳥羽商船高等専門学校